

聖霊降臨後の月曜日  
教会の母聖マリア

記念日

マリアは教会の頭であるキリストを産み、自らの子キリストが十字架で息を引き取る前にあがなわれた人々の母とされた。そのため、聖母マリアには「教会の母」という称号が与えられた。福者教皇パウロ六世は、一九六四年十一月二十一日に行った第二バチカン公会議の教父たちに対する演説の中でこの称号を荘厳に認め、「すべてのキリスト者が、最も甘美なこの称号をもって、今後いっそう神の母に敬意を払うよう」定めた。

ミサ

入祭唱

弟子たちはイエスの母マリアと心を合わせて熱心に祈っていた。 (使徒言行録 1・14 参照)

集会祈願

あわれみ深い父である神よ、  
十字架につけられた御ひとり子は、  
ご自分の母であるおとめ聖マリアを、  
わたしたちの母として与えてくださいました。  
マリアの愛に助けられ、  
あなたの教会が、日々、信じる人々の誕生と成長を喜び、  
母としてすべての民の家族を迎え入れることができますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、  
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読 (創世記 3・9-15、20)

命あるすべてのものの母

創世記

〔アダムが木の実を食べた後に、〕主なる神は〔彼〕を呼ばれた。  
「どこにいるのか。」  
彼は答えた。  
「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」  
神は言われた。

「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなど命じた木から食べたのか。」  
アダムは答えた。

「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」

主なる神は女に向かって言われた。

「何とということをしたのか。」

女は答えた。

「蛇がだましたので、食べてしまいました。」

主なる神は、蛇に向かって言われた。

「このようなことをしたお前は

あらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で

呪われるものとなった。

お前は、生涯這いまわり、塵を食らう。

お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に

わたしは敵意を置く。

彼はお前の頭を砕き

お前は彼のかかとを砕く。」

アダムは女をエバ(命)と名付けた。彼女がすべて命あるものの母となったからである。

または

#### 第一朗読 (使徒言行録 1・12-14)

彼らはイエスの母マリアと熱心に祈っていた

#### 使徒たちの宣教

〔イエスが天に昇られた後、〕使徒たちは、「オリーブ畑」と呼ばれる山からエルサレムに戻って来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。

#### 答唱詩編 (詩編 87・1+2、3+5、6+7)

答唱 神の町シオンよ、お前に示された神のことばはすばらしい。

神はシオンの町をとうとい山の上に建て、

ヤコブのすべての住まいより愛される。

神の町シオンよ、お前に示された神のことばはすばらしい。

シオンはすべての者の母と言われ、すべてを越えるかたに支えられる。

神は民を数えられる時、すべての人をシオンの民に加えられる。  
彼らは踊りながら歌う。「シオンはわたしたちの泉。」

(歌う場合 詩編 65・3+4、5、6 『典礼聖歌』183)

答唱 われらはシオンで神をたたえ、豊かな恵みを喜び歌う。

祈りを聞いてくださる神、罪に苦しむ人はみな、あなたのもとをたずねる。  
罪の重荷にうちひしがれても、あなたはすべてをゆるしてくださる。

あなたの庭に住むように選ばれ、招かれた人はしあわせ。  
わたしたちはあふれる恵みに潤される、あなたの家、神殿の中で。

わたしたちの救い、わたしたちの神よ、あなたは地の果ての望み、遠い島々の希望。  
わたしたちにこたえて救いを現し、驚くべきしるしを行われる。

**アレルヤ唱** (『典礼聖歌』の年間アレルヤ唱の旋律を用いる)

アレルヤ、アレルヤ。

幸せなかた、主を産んだおとめ、教会の母よ。

**あなたはわたしたちのうちにイエス・キリストの霊をはぐくんでくださる。**

アレルヤ、アレルヤ。

**福音朗読** (ヨハネ 19・25-34)

御覧なさい。あなたの子です。見なさい。あなたの母です

**ヨハネによる福音**

〔そのとき、〕イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。そこには、酸いぶどう酒を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソプに付け、イエスの口もとに差し出した。イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

その日は準備の日で、翌日は特別の安息日であったので、ユダヤ人たちは、安息日に遺体を十字架の上に残しておかないために、足を折って取り降ろすように、ピラトに願い出た。そこで、兵士たちが来て、イエスと一緒に十字架につけられた最初の男と、もう一人

の男との足を折った。イエスのところに来てみると、既に死んでおられたので、その足は折らなかった。しかし、兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。すると、すぐ血と水とが流れ出た。

#### 奉納祈願

恵み豊かな神よ、

わたしたちのささげものを受け入れ、

救いをもたらす秘跡としてください。

秘跡の力と

教会の母おとめマリアの愛がわたしたちを燃え立たせ、

マリアとともに、あがないのわざにいつそう強く結ばれますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱 聖母マリア三ー聖母マリアの生涯ー (『ミサ典礼書』608 ページ)

#### 拝領唱

ガリラヤのカナで婚礼があり、イエスの母がそこにいた。

イエスは最初のしるしを行い、その栄光を現され、

弟子たちはイエスを信じた。

(ヨハネ 2・1、11 参照)

または

十字架につけられたイエスは、愛する弟子に言われた。

「見なさい。あなたの母です。」

(ヨハネ 19・26-27 参照)

#### 拝領祈願

聖なる神よ、

あがないをもたらすいのちの糧を受けて、心から祈ります。

あなたの教会が、母であるおとめマリアの助けによって、

すべての民に福音を告げ知らせ、

あなたから注がれる聖霊を受けて、全世界に広がりますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(2018年4月5日 日本カトリック司教協議会常任司教委員会承認)